

# 一般財団法人東海テレビ国際基金 2025年度事業計画

(2025年4月1日～2026年3月31日)

国際理解促進のため、より有意義な事業を効率的に実施して、目的を達成するよう努める。

## 1. 自主企画事業 (定款 第4条第1項第3号)

### 【上期】

外国人居住者のための「多言語指差しシート」を作成し、配布する。「多言語指差しシート」は、表記されている会話や記号を指差すことで、日本人と外国人が簡単にコミュニケーションを図ることができるツールである。

言語は、ポルトガル語、英語、韓国語の3か国語で作成する。内容は、名古屋の名所・旧跡・観光地などを案内する「文化・観光編」と防災対策として非常時の行動などを解説した「災害・非常時編」の2種類とする。6パターンシートはダウンロード式で、各シートを取り込むQRコードを表示したクリアファイルを1万枚作成する。配布先は、助成先を含めた国際交流団体や高校・大学、日本語学校などの他、留学生や在留外国人向けの施設や役所などを予定している。予算は180万円。

### 【下期】

愛知県は、2026年にアジア・アジアパラ競技大会の開催を控えている。そこで、外国人の学生たちと日本人に、「ユニバーサルスポーツ」の条件を兼ね備えたパラ競技種目の体験を通じて、国際交流と相互理解を深めてもらう。「ユニバーサルスポーツ」は、障がいの有無のほか、国籍・年齢・性別やその種目の得意・不得意に関わらず楽しめるもので、参加者全員が勝者になる可能性がある。

具体的には、パラリンピックの正式種目のひとつであるヨーロッパ発祥の「ボッチャ」の開催を検討中。外国人を含むチームによる競技会で、参加国数は5～7か国程、参加人数は約40名を想定している。予算は70万円。

## 2. 助成事業 (定款 第4条第1項第2号)

### (1) 「鈴鹿国際交流フェスタ2025 わいわい春まつり」への助成

鈴鹿国際交流協会主催。各国の舞踊やダンス、キッチンカーによる外国料理、民芸品の販売などを通じて他国への関心を広げることで、日本人と在住外国人の交流を深め、国際協力、多文化共生を推進する。例年約3000人が参加で、日本人と外国人が半数ずつ。出身国は、ブラジル、フィリピン、スリランカ、ペルー、中国、韓国など約20か国。

(5月18日実施予定、予算10万円)

- (2) 「第17回TIRA国際スポーツ交流会」への助成  
豊明国際交流協会主催。キンボール(カナダ発祥、巨大で軽いアドバルーンのようなボールを床に落とさないようチームで協力し合う競技)や卓球などの軽スポーツを通じて、豊明市民と外国人市民との交流を図り、より良い豊明の街づくりを目指す。約150人(うち外国人50人)が参加予定。出身は、ベトナム、ブラジル、アメリカ、インドネシア、中国、インドなど約10か国。  
(5月25日実施予定、予算4万円)
- (3) 「希望のキャンパス～子供たちが描く環境の未来」への助成  
国際児童画協会主催。環境問題の解決と平和をテーマに、世界の子供たちが描いた作品展を通じて、子供たちの国際交流の促進と環境意識の向上を目指す。フランス、イタリア、セルビア、ベトナム、中国、オーストラリアなど約20か国、40点余りの作品を展示予定。  
(2025年6月16日～20日実施予定、予算3万円)
- (4) 「世界の子どもの本展」への助成  
至学館大学附属図書館主催。「世界の子どもの本展」は、IBBY(国際児童図書評議会)が「子どもの本を通して国際理解をすすめる」ことを目的に世界中で開催されている。今回の「世界の子どもの本展」は、地域社会に至学館大学附属図書館の独自性を伝えるとともに、地域住民の交流の場を提供する。また、国際的な知見から各分野の研究に取り組む研究者の情報提供、情報発信の場となるよう努める。日本を含めて、フランス、インド、スウェーデン、ペルー、韓国、中国、アメリカなど世界50か国、180冊の絵本を2週間展示予定。  
(7月14日～25日実施予定、予算10万円)
- (5) 「産業革命と日本の近代化の歴史を学ぶ研修」への助成  
NPO「知多から世界へ」主催。知多地域の公立中学1年生の約20人が、英国シェールズベリーに滞在し、産業革命と日本の近代化の歴史を学ぶ。ホームステイによる生活体験や語学研修、地元高校生との交流を行うことで、国際理解や国際感覚を高める。英語圏およびフランス、イタリア、スペインなど英語圏以外の約60人の外国人と交流する。  
(7月26日～8月11日実施予定、予算13万円)
- (6) 「国際交流・国際協力・NGO入門講座開催」への助成  
運営母体は、名古屋NGOセンター。世界で起こっている様々な課題や問題をワークショップ形式で話し合うことで、参加者に自らの問題として捉えてもらい、持続可能な社会を作る担い手を育成する。年4回のべ120人が参加。  
(2025年8月2日～2026年1月17日に計4回実施予定、予算7万5000円)

- (7) 「2025年度CISV国際交流プログラム ユースミーティング日本大会」への助成  
運営母体は、CISV日本協会東海支部。世界7か国(2024年は、ブラジル・カナダ・チェコ・イタリア・フィリピン・アメリカ・日本)から集まった12、13歳の青少年男女28人が1週間のキャンプ生活を体験する。学習やレクリエーションを通じて、人種・国籍を超えた友情を育み、国際平和の理解を深める。  
(8月3日～10日実施予定、予算10万円)
- (8) 「第30回国際交流フェスティバル」への助成  
江南市国際交流協会主催。外国人の日本語によるスピーチ大会や、フラダンス・三味線、外国の紙芝居や民族衣装体験などを通じて、市民と在住外国人が交流を深める。参加者は約1200人で、このうち外国人は約400人。例年、ベトナム、ネパール、ペルー、インドネシアを中心に約20か国の在住外国人が参加している。  
(8月17日実施予定、予算10万円)
- (9) 「It's ME Camp 2025」への助成  
主催は、DiVE. tv。外国籍の若者及び日本人約50人が、文化や自然への体験を通して自己を見つめ、日本に対する理解を高めることを目的とする。また、国際交流によって視野が広がり、個性を生かした自由な発想が促されることを目指す。例年、外国人参加者は約30人で、出身国は、ベトナム、中国、インドネシア、ブラジル、トルコ、フィリピンなど5～7か国。  
(9月実施予定、予算10万円)
- (10) 「あいち国際女性映画祭2025」への助成  
国内唯一の国際的な映画祭。世界で活躍する女性監督等を招待し、様々なテーマの作品を上映するとともに、トークイベントやシンポジウムを通じ、女性の社会進出の支援や国際交流の推進を図る。例年の上映本数は約30本で海外作品が15本～18本。会期が1日延びた今年は入場数を15000人と見込む。  
(9月11日～15日実施予定、予算15万円)
- (11) 「国際芸術祭あいち2025」への助成  
3年に1度の開催。国内外の気鋭アーティストの現代美術を発信することで、世界の芸術の発展に貢献する。また、地域の文化芸術活動を活発化させ、地域の魅力の向上を図る。日本人を含む約50人の作家による作品展示で、作家の主な出身国は、アメリカ、ガーナ、グアテマラ、フランス、アラブ首長国連邦、韓国、オーストラリア、インドネシア、ケニア、レバノンなど20か国。3年毎の開催で、前回2022年の集客数は約48万人。  
(9月13日～11月30日実施予定、予算20万円)

- (12) 「世界を遊ぼう！フレンドシップフェスティバル」への助成  
一宮市国際交流協会主催。イタリア、ニュージーランド、中国、ベトナム、韓国、エジプト、キューバなど8か国の在住外国人が参加。ステージや異文化を体験できるワンコインワークショップ、世界の遊び体験などを通じて、広く市民の国際交流・国際理解の推進と啓発を図る。参加者は約6000人で日本人と外国人が半数ずつ。  
(9月20日～21日実施予定、予算15万円)
- (13) 「第31回Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム」への助成  
三重大学主催。中国、タイ、インドネシアの留学生約100人および三重大学の学生50人が交流することによって、国際的な視野を広げ、異文化理解を深める。また、英語による論文発表を通じて、学生の英語力および学術的なコミュニケーション能力の向上を図る。  
(9月22日～26日に実施予定、予算10万円)
- (14) 「伊賀市国際交流フェスタ2025」への助成  
伊賀市国際交流協会主催。外国の食、物品の販売や外国と日本の音楽、舞踊のステージを通じて、伊賀市在住の外国人と地域住民との国際交流や多文化共生の理解を深める。例年、約1500人が参加。このうち外国人が約600人で、出身国は、ブラジル、ペルー、ベトナム、フィリピン、中国、ベルギー、キルギスなど約10か国。  
(10月6日実施予定 予算15万円)
- (15) 「シスターシティフェスティバル」への助成  
名古屋市と名古屋姉妹友好都市協会の共催。名古屋の姉妹友好6都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市・ランス市)の歌やダンスをステージで披露するとともに食文化、観光などをブースで紹介することにより、姉妹友好都市の魅力を感じ、国際理解を深めてもらう。参加者は約1600人。  
(10月18日～19日実施予定、予算20万円)
- (16) 「ワールド・コラボ・フェスタ2025」への助成  
愛知国際交流協会ほかの主催。市民、NGO、NPO、企業、行政等の協力による各国の歌や踊りの披露や楽器演奏のパフォーマンス、多文化共生のトークイベントなどを通じて、中部地域の国際交流、国際協力、多文化共生の活動を広げ、「学び、考え、行動する場」をつくりあげる。昨年度の参加者は約61000人で、このうち外国人は約13000人。外国人の出身国は、フィリピン、ベトナム、エジプト、トルコ、ウクライナ、中国、ネパール、スリランカ、アメリカ(ハワイ)、タヒチなど約20か国。  
(10月25日～26日実施予定、予算20万円)

- (17) 「第43回全日本中国語スピーチコンテスト愛知県大会」への助成  
日本人約25人が参加する中国語スピーチコンテストで、今回は愛知県と江蘇省の友好提携45周年記念大会。中国語の普及や中国語学習者の学習意欲の向上に貢献し、日中友好の増進と国際理解を深めることを目的とする。3部門の最優秀者3人が全国大会出場に推薦される。  
(11月1日実施予定、予算7万5000円)
- (18) 「とよはしインターナショナルフェスティバル2025」への助成  
豊橋市国際交流協会ほかの主催。各国の音楽演奏やダンス、日本語スピーチコンテスト、国際交流団体の紹介パネル展などを通じて、市民と外国人が一堂に集い、国際交流、国際協力の在り方を考える。参加者は、例年約5000人で外国人が約2000人。出身は、フィリピン、ウクライナ、コロンビア、ベネズエラ、ペルー、タイなど約15か国。  
(11月2日または9日実施予定、予算10万円)
- (19) 「外国にルーツがある子供達と日本人青少年の交流を目指したコミュニケーション・ワークショップ」への助成  
多文化子どもエデュニho☆nicoの主催。岐阜県内在住の外国人の子供たちがワークショップを通じて日本人の高校生・大学生および留学生と交流し、自分の地域を理解することを目指す。また日本人にとっては、異文化理解を体験する機会となる。参加人数は、約50人の予定で、30人以上が外国人(フィリピン・中国・ブラジル・ペルー・ベトナムなど約5か国)。  
(11月中旬に実施予定、予算8万円)
- (20) 「岐阜ロシア文化サロン」への助成  
ロシアから来日したモスク音楽院教授でピアニストのパーヴェル・ネルシアンとのピアノコンサートを開催。ロシア文化やロシア音楽に親しんでもらう。  
(11月24日、予算10万円)
- (21) 「ワールドフェスティバル2025」への助成  
豊川市国際交流協会主催。世界7ヶ国のグルメコーナーの出店や各国の演奏、コスプレ大会などを通じて、地域住民と外国人との交流を深め、相互理解と国際親善の推進を図る。昨年の参加者は約2400人(うち外国人が約1000人)。外国人の出身国は、ネパール、ブラジル、ベトナム、フィリピン、中国、タイ、ペルー、韓国など約10か国。  
(12月7日実施予定、予算10万円)

- (22) 「市制20周年記念事業 いせ国際交流デー」への助成  
伊勢市国際交流協会主催。各国のブース出展、舞台やイベントの披露、料理の提供、在住外国人を対象としたスピーチコンテストなどを通じて、市民と外国人との国際交流を促進し、市民の国際理解を深める。参加者は約500人で外国人は約200人。出身国は、ベトナム、フィリピン、インドネシア、中国、バングラディッシュなど約10か国。  
(2026年1月～2月実施予定、予算8万円)
- (23) 「小牧市国際交流ふれあいフェスタ」への助成  
小牧市国際交流協会主催。各国の舞踊等の舞台発表やキッチンカーによる各国料理、着物の試着などの多種多様なプログラムを通じて、日本人と外国人との国際交流の推進を図る。参加者は約500人で外国人は約150人。出身国は、中国、ブラジル、韓国、アルゼンチン、フィリピンなど約10か国。  
(2026年1月18日実施予定、予算20万円)
- (24) 「国際交流デー」への助成  
大府市国際交流協会主催。外国人によるステージイベントや多国籍料理を通じて、市内在住の外国人と市民の交流機会を作り、市民の国際理解を深める。参加者は約350人で、外国人が約140人。出身国は、ペルー、マレーシア、ベトナム、インドネシア、イラン、中国、韓国など10か国。  
(2026年1月18日または2月1日実施予定、予算8万円)
- (25) 「くーてトーク2026」への助成  
長久手市国際交流協会主催。東海地方在住の外国人と日本人が、故郷・習慣・趣味などをテーマにスピーチ・歌・踊りなどを発表し、多文化紹介を行うことで国際交流、多文化共生の意識を高める。参加者(発表者)は、応募者の中から審査等で日本人部門・外国人部門それぞれ10組ずつを選出。  
(2026年1月24日実施予定、予算5万円)
- (26) 「第16回東三河日本語スピーチコンテスト」への助成  
東三河5市(豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原)合同の実行委員会主催。5市から選出された在住外国人25名が参加する日本語スピーチコンテスト。地域の多文化共生の理解を深め、国際交流の推進を図る。  
(2026年1月25日実施予定、予算10万円)

(27) 「和菓子と茶道で深める国際交流体験」への助成

四日市国際交流センター主催。日本の伝統文化である和菓子作りと茶道体験を通じて、外国人に日本の美意識やおもてなしの心を感じてもらい、国際交流の活性化に貢献する。参加者は約250人で、日本人と外国人が半数ずつ。外国人の出身国は、ブラジル、ベトナム、韓国、中国、タイ、インドネシア、ペルー、台湾、ウクライナなど約10か国。

(2026年2月8日実施予定、予算8万円)

(28) 「きよす国際交流まつり」への助成

清須市国際交流協会主催。県内在住外国人および留学生と市民が参加。各国の演舞や日本の和太鼓の演奏、各国の遊びや日本文化の紹介などを通じて交流を図り、国際交流活動の進展を目指す。参加者は200～250人(うち外国人が60人～100人)。外国人の出身はネパール、中国、韓国、スペイン、ブラジル、ウクライナなど8～10か国。

(2026年2月15日実施予定、予算10万円)

**助成事業費計 307万円**

**事業費合計 557万円**

以 上